

年間授業計画

都立松が谷 高等学校 令和7年度（1学年用）

情報 科目 情報I

教科：情報 科目：情報I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（1・2・4・5・7・8組：新城）（3・6組：布村）

使用教科書：（東京書籍 情I702）『情報I Step Forward!』

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術の活用技能を習得する中で、規範を含めた情報社会と人との関わりについて理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、自ら課題を見つけ解決する力および言語能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して、グローバルに変化する情報社会に主体的に参画し貢献できる態度と規範意識を養う。

科目 情報I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用についての理解を深め、技能を習得するとともに、SNSの功罪やモラル等の規範についての知識および情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、自ら課題を見つけ多様な人々と協働し解決するために情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力とプレゼン能力等を含めた言語能力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
<p>情報社会</p> <p>【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解し、さらに情報に関する法規や制度、規範について理解をする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法および望ましい情報社会について考察しながら、情報に関する法規や制度、規範の意義について考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>情報とその特性 メディアとその特性 問題を解決する方法 解決方法の考察 情報の収集と分析 解決方法の考察 知的財産 情報セキュリティ 情報モラルと個人の責任 情報技術の進歩と役割 情報技術が社会に与える光と影</p> <p>・教材 教科書、学習ノート、GIGAワークブックとうきょう ・一人1 端末末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①情報やメディアの特性を理解している。 ②情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 ③情報に関する法規や制度、規範について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決することができる。 ②望ましい情報社会の構築について考察することができる。 ③情報に関する法規や制度、規範の意義について考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的な知識を活用しようとすることができる。</p>	○	○	○	16
定期考査			○	○		1
<p>情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】 メディアとコミュニケーションの手段の特徴を科学的に捉え、情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解し、表現する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 メディアとコミュニケーションの手段の特徴を科学的に捉え、またコミュニケーションやプレゼンテーションの目的を明確にしたうえで適切かつ効果的な情報デザインについて考察し、表現、評価、改善する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>コミュニケーションとメディア 情報のデジタル化 数値の表現 2進法の計算 文字のデジタル表現 音のデジタル表現 画像のデジタル表現 データの圧縮 デジタルデータの特徴 メディアと文化の発展 ネットコミュニケーションの特徴 情報デザイン 操作性の向上と情報デザイン 全ての人に伝わるデザイン コンテンツ設計</p> <p>・教材 教科書、学習ノート 一人1 端末末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①メディアとコミュニケーションの手段の特徴を科学的に理解している。 ②情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。 ③情報デザインを適切に表現する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①メディアとコミュニケーションの手段を適切に選択できる。 ②コミュニケーションやプレゼンテーションの目的を明確にしたうえで適切かつ効果的な情報デザインについて考えることができる。 ③情報デザインについて、表現し、評価し改善することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的な知識を活用しようとすることができる。</p>	○	○	○	18
定期考査			○	○		1
<p>プログラミング</p> <p>【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、またプログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解し、さらに事象をモデル化しシミュレーションをする方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察し、自ら見つけた課題に応じたアルゴリズムやモデル化について適切に表現し、プログラミングやモデルを評価し改善する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>コンピュータの構成 ソフトウェア 論理の仕組み 論理回路 アルゴリズムの表現 アルゴリズムの効率性 プログラムの仕組み プログラミング入門 プログラムの応用 問題のモデル化 モデル化の活用 シミュレーション シミュレーションの活用</p> <p>・教材 教科書、学習ノート 一人1 端末末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①コンピュータや外部装置の仕組みや特徴を理解している。 ②プログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解している。 ③事象をモデル化しシミュレーションをする方法について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考えることができる。 ②自ら見つけた課題に応じたアルゴリズムやモデル化について適切に表現することができる。 ③プログラミングやモデルを評価し改善することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的な知識を活用しようとすることができる。</p>	○	○	○	16
定期考査			○	○		1
<p>ネットワークの活用</p> <p>【知識及び技能】 情報通信ネットワークの仕組みおよび、情報システムがサービスを提供する仕組みについて理解し、さらにデータを収集、整理、分析する方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報セキュリティを確保する方法および、情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考え、データの収集、整理、分析について評価、改善する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>情報通信ネットワーク デジタル通信の仕組み インターネットの利用 安心安全を守る仕組み 情報システム さまざまな情報システム 情報システムの信頼性 データの活用とデータベース データの管理 データの収集と種類 データの分析 不確実な事象の解釈 2つのデータの関係</p> <p>・教材 教科書、学習ノート 一人1 端末末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①情報通信ネットワークの仕組みについて理解している。 ②情報システムがサービスを提供する仕組みについて理解している。 ③データを収集、整理、分析する方法について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。 ②情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えることができる。 ③データの収集、整理、分析について評価、改善する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的な知識を活用しようとすることができる。</p>	○	○	○	16
定期考査			○	○		1
						谷計
						70



